

2021 年 5 月 21 日

報道関係各位

一般社団法人日本化学工業協会

## 「カーボンニュートラルへの化学産業としてのスタンス」策定

今般、一般社団法人日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：森川宏平（昭和電工（株）代表取締役社長）、以下「日化協」）は、「カーボンニュートラルへの化学産業としてのスタンス」を策定しました。

日化協では、2017 年 5 月に「地球温暖化問題への解決策を提供する化学産業としてのあるべき姿」を策定・公開していますが、政府の 2050 年カーボンニュートラル宣言を受け、その政策を実現すべく、化学産業としての貢献について検討してまいりました。

本スタンスでは、化学産業における GHG\* 排出の発生メカニズムを特定した上で、生産活動における GHG 排出削減の取り組みおよび製品・サービスを通じた削減貢献の考え方を定め、併せてイノベーションとその社会実装の完遂に向けて政府へ要望することをまとめました。

カーボンニュートラルの実現においては、循環型社会の視点に立ったライフサイクルでの取り組み・評価が重要です。日化協は、バリューチェーンパートナーと協働し、製品の使用・廃棄段階を含めた GHG 排出削減の仕組み構築と、その評価方法の確立などの社会実装の課題に取り組み、カーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

\* GHG: 温室効果ガス

以上

### 【添付資料】

カーボンニュートラルへの化学産業としてのスタンス

《本件に関するお問い合わせ先》

報道関係者：日本化学工業協会 広報部

結城 TEL: 03-3297-2555